



2006年5月11日

各位

メディシノバ・インク  
取締役会長兼社長、CEO  
岩城 裕一  
(コード番号：4875 大証ヘラクレス)  
問合わせ先 経理・管理担当副社長  
浅子 信太郎  
電話番号 03-3519-5010  
E-mail [info@medicinova.com](mailto:info@medicinova.com)

### 新取締役就任に関するお知らせ

2006年5月11日 米国 サンディエゴ発 - メディシノバ・インク(米国カリフォルニア州 サンディエゴ、取締役会長兼社長、CEO:岩城裕一)は、取締役会の決議により、以下の両名の取締役就任を承認しましたのでお知らせいたします。

アラン・ダントン博士 (Alan Dunton, M.D.)

アーリーン・モリス氏 (Arlene Morris, Ms.)

現在、ダントン博士はアクティブバイオティクス(ActivBiotics)社の取締役会長を、モリス氏はアフィマックス(Affymax)社の社長兼CEOを務めております。

「ダントン博士は新薬の臨床研究や臨床開発の分野で、モリス氏は戦略的なアライアンスやマーケティングなどの分野で、それぞれに豊富な経験をもつ専門家であり、世界の製薬業界のリーダーです。今回、ダントン博士、モリス氏がメディシノバ・インクの実業取締役として経営に参加することは、非常に喜ばしくまた幸運なことです。弊社では、既存7プロジェクトがすべて臨床試験に入り、しかもそのうちの4化合物がフェーズ2以降の後期開発段階にあります。ダントン、モリス両氏の就任により開発力が著しく強化されると同時に、そのビジネスに関する豊富な知見が新たな企業価値の向上に貢献することが期待されます。」と、取締役会長兼社長、CEOの岩城裕一は述べております。

なお、両氏の略歴を別紙にまとめましたのでご参照下さい。

以上

メディシノバ・インクは様々な疾患領域の新規医薬品の導入・開発・販売に特化する製薬企業です。弊社詳細につきましては<http://www.medicinova.jp>をご覧ください。メディシノバ・インクの所在地はアメリカ合衆国カリフォルニア州サンディエゴ市ラ・ホイヤ・ヴィレッジ・ドライブ4350、スイート950(電話1-858-373-1500)です。

このプレスリリースには、1995年米国民事証券訴訟改革法(The Private Securities Litigation Reform Act of 1995)に規定される意味での「将来の見通しに関する記述」が含まれている可能性があります。これらの記述には、当社の長期的な成長の見込みが含まれます。これらの記述は、当社の経営陣がその時の状況下において合理的であると判断して立てた前提に基づくものです。このような記述は、臨床試験の結果、共同研究候補機関の市場における影響力、当社が米国証券取引委員会に提出した届出書に記載されているものも含めたその他のリスクや不確定要素など、その多くは当社のコントロールが及ばないいくつかの前提、リスク、不確定要素の影響を受けるものであります。したがって、実際の当社の業績は「将来の見通しに関する記述」に表現される、あるいは、示唆されるものと大きく異なることがあります。

---

## 【ご参考】

### アラン・ダントン博士 ( Alan Dunton, M.D. ) の略歴

ニューヨーク大学で医学博士号取得。

20年にわたり医薬品の開発・承認取得に従事し、抗生剤レバキン ( Levaquin<sup>®</sup> ) アルツハイマー病治療薬レミニール ( Reminyl<sup>®</sup> ) をはじめとする多くの処方医薬品、関節炎治療の市販薬のアリーブ ( Aleve<sup>®</sup> ) などに携わる。

ジョンソン & ジョンソン ( Johnson&Johnson ) 社の研究財団 ( Janssen Research Foundation ) の理事長及びマネージング・ディレクターを務める。この間、全世界の同社グループ企業が商品化する新規処方薬の研究開発責任者を務める。

ジョンソン & ジョンソン ( Johnson&Johnson ) 医薬品グループの運営委員会のメンバー、ジャンセン・ファーマスーティカル ( Janssen Pharmaceutical ) の取締役、ジャンセン・シラク・インターナショナル ( Janssen-Cilag ) 社会長などを歴任。

また、ロッシュ ( Roche ) 社、チバガイギー ( CIBA-GEIGY ) 社 ( 現在のノバルティス ( Novartis ) 社 ) での業務経験も有する。

2003年より、メタフォー・ファーマスーティカルズ ( MetaPhore Pharmaceuticals ) 社の社長兼 CEO となるが、2005年に同社がアクティブバイオティクス ( ActivBiotics ) 社に買収され、取締役会長 ( 現任 ) となる。

また、研究・開発者としてだけでなく、臨床研究における倫理規定の制定にも携わり、この功績に対し、米国の臨床研究財団より権威ある賞を授与されている。

### アーリーン・モリス氏 ( Arlene Morris, Ms. ) の略歴

カーロウ・カレッジ ( Carlow College ) で生物学及び化学学士号取得。ウェスタン・ニューイングランド・カレッジ ( Western New England College ) でマーケティングを学ぶ。

1977~1993年まで、ジョンソン & ジョンソン ( Johnson&Johnson ) 社にて販売、マーケティング、新製品開発、事業開発などに従事、様々な管理職及び役員を歴任。

1988~1993年まで、マクネイル・ファーマスーティカル ( McNeil Pharmaceutical ) 社の事業開発担当副社長を務める。

その後、サイオス ( Scios ) 社において事業開発担当副社長を務め、業界のさきがけとなった後期臨床段階の化合物の利益分配案件をはじめとする複数の取引を成約に導く。

さらに、コールター ( Coulter ) 社では、コールター ( Coulter ) 社とコリクサ ( Corixa ) 社との10億ドルと評価される合併や、ベクサル ( Bexxar<sup>®</sup> ) で知られるグラクソ・スミスクライン ( GlaxoSmithKline ) 社との2億ドルを超えるジョイントベンチャー設立等、数多くの取引を成立させた。

その後、バイオ医薬品企業およびバイオテクノロジー企業の戦略的提携を取り扱うコンサルティング企業、クリアビュー・プロジェクト ( Clearview Projects ) 社社長兼 CEO 就任。

2003年 アフィマックス ( Afymax ) 社の社長兼 CEO ( 現任 ) となる。